

自然の中の危険を知り 安全にハイキングを楽しもう!

まんが：中尾雄吉



「おいで山」の下見には
はるか班長とあゆむ次長と
私とで行ってきました。

この一帯は去年の秋に台風が
通過したのですが、さほど大きな
被害はなかったそうです。

はるかたちの班は近くの「おいで山」へ自然観察を
かねたハイキングに行く計画を立てました。春の山は
木々も動物や虫も暖かい太陽の光に誘われて、いき
いきとしています。いろいろな草花も咲いて野を飾
り、訪れる人を楽しませてくれます。でも、自然の中は
危険もたくさんあります。はるかとは隊長と一
緒に「おいで山」の下見に出かけて、どこが危険な
か予測を立てます。安全で楽しいハイキングにするた
めに万全を期しますが…



くわしい下見の結果や、予測
される危険については班長から
報告してもらいましょう。

ハイ、では
報告します。

今回のコースは途中で2回
小さな沢を渡るので、浮石
には気をつけてください。

それと、今は使われていない
道が何か所かあるので、間違っ
て入りこまないように十分な注意が
必要です。



あの～
「浮石」って
何ですか？

のぼる君、それは
川底や地面に密着して
いなくて足をのせたり
するとぐらつく不安定な
石のことだよ。

ああ、
わかり
ました。



あゆむ君も先輩らしく
なってきたじゃないか。

これで悪ふざけを
しなければいいん
ですけどねえ。

なんでも
ボクにも
きいてね

ハイ、それではあゆむ君、
安全なハイキングの心得を
発表してください。

ハイハイ
用意して
きたよ。

ジャン！これが
「ハイキングの安全
心得」八箇条じゃ！

1. 崩れた
2. 木の枝
3. ハチや
4. 常に自
5. 道に迷

自然の中は危険がいっぱいなので
みんな十分に注意しようね。

あーう…8番目の
「お菓子を食べ続ける」
って本当ですか？

あ…いや
これはちょっと
オマケにね…

もう～
ふざけて
ないですよ！

1. 崩れた斜面などには近づかない
2. 木の枝などに注意
3. ハチやヘビなどを見かけたら
刺激をしないで静かに離れる
4. 常に自分たちの位置を地図に
照らし合わせて確認する
5. 道に迷ったら迷う前の地点に
引きかえす
6. 川の石などは体重をのせる
前に浮石かどうか確認する
7. 休憩は30分に5分くらいの
割合でとる
8. 体力を消耗しないように
お菓子を食べ続ける

1. 崩れた斜面などには近づかない
2. 木の枝などに注意
3. ハチやヘビなどを見かけたら
刺激をしないで静かに離れる
4. 常に自分達の位置を地図に
照らし合わせて確認する
5. 道に迷ったら迷う前の地点に
引きかえす
6. 川の石などは 体重をのせる
前に浮石かどうか確認する
7. 休憩は30分に5分くらいの
割合でとる
8. 体力を消耗しないように
お菓子を食べ続ける

とにかく安全で楽しい
ハイキングにしよう。

とくに雨具は
絶対に忘れない
ようにね。

ハイ！

こうしてハイキングの
当日がやってきました。

それじゃ、みんな
会議で確認した安全の
心がけを忘れないで
行動しましょう。

これより
出発！

オーツ！

おいで山登山口

おいで山登山口

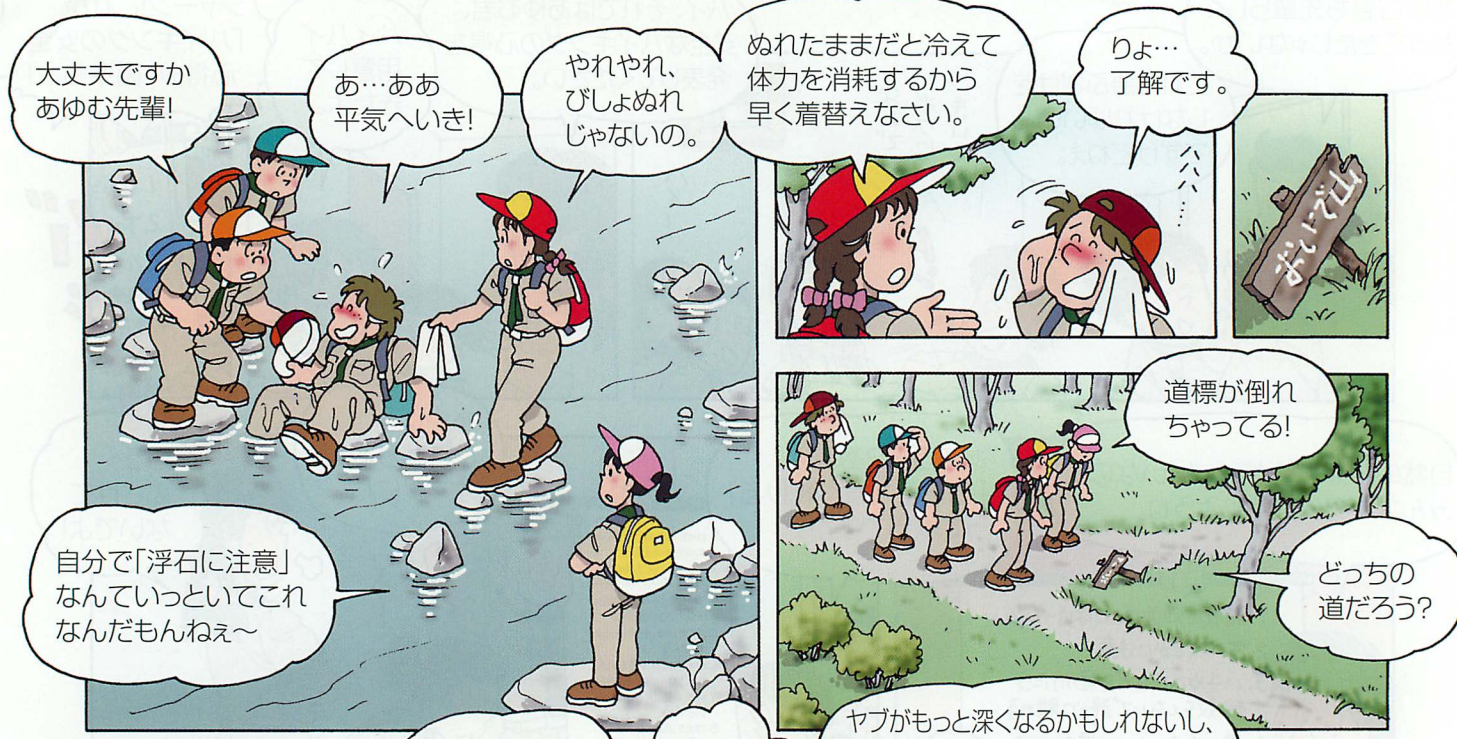
これが
最初の
沢ね。

浮石には注意
するんだよ。

了解！

おっ……
カワセミ
発見！

わっ！！



大丈夫ですか
あゆむ先輩!

あ…ああ
平気へいき!

やれやれ、
びしょぬれ
じゃないの。

ぬれたままだと冷えて
体力を消耗するから
早く着替えなさい。

りよ…
了解です。

自分で「浮石に注意」
なんていってこれ
なんだもんねえ~



道標が倒れ
ちゃってる!

どっちの
道だろう?



地図だと道はなんとなく
右寄りに進んでる
みたいだけど……

じゃあ、右に
行ってみよう。

わあ~
すごい
ヤブ!

ヤブがもっと深くなるかもしれない、
ちゃんと現在位置がわかる場所まで
もどりましょう。

地図ではもう少し
進んだら元の道へ
合流できそう
だけど…



ここがさっきの場所だ。
地図とコンパスで確認
してみよう。



北北西の方角に
目標物の峰がある。

とすると左側の道が
正しいコースですね。

反省しなきゃ。
見込みだけで進んだ
のがよくなかった。

やっぱり基本に
忠実に行動しな
ければねえ。



そろそろ頂上だから
みんながんばって!

オーツ!



ヨッコラ
ショっと!

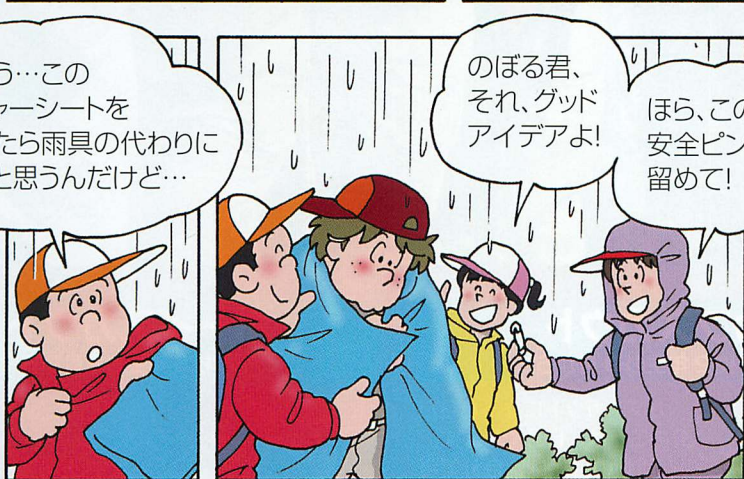


つ…
ついた!

さあ、ランチ
タイムよ!

や…
やったぜ!

おいて山頂



安全について留意すべき事項 ー指導者の皆さまへー

1. 水のプログラム

水のプログラム(川遊び、水泳等)を実施する際には、実施場所の事前および直前の調査、十分な指導・監視体制、また、水難救助の態勢を整えること。この態勢が整わない時は、水のプログラム(川遊び、水泳等)を実施しないこと。

2. 安全管理の原則

室内、野外を問わず、スカウト活動における安全管理の原則を忠実に守ること。特に安全に関する各レベルでの指導者の担当を明確にするとともに、相互に連携を密にすること。

3. 事前調査と万全の準備

野外活動の場所・気象条件等の環境の事前調査、および用具・資材等安全確認と万全の準備、ならびにスカウトや指導者に対して安全に関する必要な知識や技能の事前研修や準備訓練を確実に行うこと。また、これらの実施記録は必ず残すこと。

4. 余裕のある計画

スカウトの年齢、知識、技能、体力に適合した、余裕のある計画をもってプログラムの実施にあたること。

5. 自己の健康管理

指導者は、行事やプログラム活動中の自己の健康管理を責任をもって行い、スカウトの指導や対応にあたって判断に誤りがないようにすること。

6. 「慣れ」を戒める

指導者・スカウトともに、敵に「慣れ」を戒めること。これまで事故に至らなかったが、幸いにして、ことなきを得たことも多いと思われる。このことが、これからも事故がないとの絶対的な保証にはならないことを銘記すること。

7. 中止する勇気

指導者には、プログラムの実施にあたって、状況に応じてその活動を中止する勇気と決断をくださる責任があること。

8. 安全管理者の設置

行事や野外プログラムなどの実施にあたっては、安全管理者を置いて、活動中における安全に関して常に十分な配慮をすること。

9. 保険の加入

保険の加入について、今一度確認しておくこと。

10. 安全管理態勢を確立

以下のような資料を参考にして、安全管理態勢を確立すること。

- (1) ボーイスカウト安全入門
- (2) コミッショナーハンドブック
- (3) 団の運営と団委員会(第8章:スカウト活動と保険)
- (4) 日本ジャンボリーベンチャースカウト大会等の安全管理ハンドブック
- (5) 指導者訓練コースにおける安全管理ハンドブック
- (6) スカウティング誌平成11年6月号「事故に学ぶ」
- (7) スカウティング誌平成17年5月号「夏の野外で食べる!〜食品衛生の再確認〜」
- (8) 野外活動の安全 Q&A(I-II)
- (9) 野外を中心としたスカウト活動における応急手当て

注(1)~(7) 日本連盟発行図書・資料
 (8) 大阪連盟発行図書
 (9) 奈良県連盟発行図書